

# だいご 大子

## 議会だより

### 目次

令和4年第4回定例会	2～4
令和5年第1回臨時会	5
議員の活動報告します	6～7
議員研修報告	8～10
あん議会の質問は今?!	11～12
一般質問	13～21
わくわくわたしの夢	22



## 「あん時の時代を今！」

写真の紹介は22ページ（最終ページ）をご覧ください。

## 令和4年 第4回定例会

### 各種事業者等支援金(燃料費等高騰対策)の補正予算を可決!

令和4年第4回定例会が、11月16日から25日までの10日間の会期で開催されました。令和4年度大子町一般会計補正予算など町長から提出された議案8件(一部改正条例3件、財産の取得1件、人事案件1件及び補正予算3件)について、すべての議案が全会一致で原案どおり可決されました。

補正予算の内容については、物価高騰の対策経費などが多く盛り込まれており、具体的には施設の運営管理費用、各種農業経営や子育て世帯に対する支援などがありました。

一般質問では、8名の議員が登壇し、町政全般についての質問が展開されました。

## 令和4年 第4回定例会

### 補正額 2億341万2千円の増額

### 補正後の予算総額

# 128億2064万7千円

### 一般会計予算の主なもの

歳 入	補 正 額
地方交付税	2884万6千円
国庫支出金	7373万9千円
県支出金	7777万1千円
繰越金	4733万7千円
町債	△2034万8千円

歳 出	補 正 額
各種作付支援事業補助金	986万9千円
各種事業者等支援金	3530万円
大子町振興公社燃料費高騰対策支援金	2440万円
大子町子育て世帯物価高騰等対策支援金	1459万1千円
大子町地域医療介護総合確保基金事業補助金	4870万2千円
新型コロナワクチン接種事業費	329万7千円
給食センター空調設備改修工事請負費	800万円

## 特別会計補正予算

◆令和4年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）の補正額は、629万7千円の減額で、補正後の予算の総額は、歳入歳出それぞれ23億9215万5千円となります。

◆令和4年度大子町水道事業会計補正予算（第3号）の収益的収入の補正額は、1400万円の増額で、補正後の予定額は4億8034万円、収益的支出の補正額は1700万円の増額で、補正後の予定額は4億9553万7千円になります。

また、資本的支出の補正額は283万8千円の増額で、補正後の予定額は4億6752万5千円になります。

## 第4回定例会 提出議案等と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第93号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決
議案第94号	大子町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決

議案第95号	大子町医師修学資金貸与条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第96号	大子町立学校給食センター防災対応型炊飯センター厨房機器の取得について	原案可決
議案第97号	大子町監査委員の選任について	原案同意
議案第98号	令和4年度大子町一般会計補正予算（第6号）	原案可決
議案第99号	令和4年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第100号	令和4年度大子町水道事業会計補正予算（第3号）	原案可決

## 大子町監査委員に石井收さんを選任

大子町監査委員のうち識見を有する者から選任されている益子正道さんが、令和5年2月6日で任期満了となるため、その後任として石井收<sup>いしのおさむ</sup>さんを選任することに同意しました。任期は令和5年2月7日から令和9年2月6日までの4年間です。

### 監査委員とは



監査委員は独立した執行機関で、町の財務事務などの行政運営が公正で効率的に行われているのかなどのチェックを行っています。

大子町の監査委員の定数は2人と決められています。町議会議員から1人（議選監査委員）と、識見を有する者（財務管理や経営管理など行政運営に関して優れた識見を持つ者）のうちから1人が選任されており、町長が議会の同意を得て選任することになっています。

# 出産・子育て応援給付金事業などを可決！！

## 令和5年第1回臨時会

令和5年に入って初めての議会（臨時会）が1月23日に開催され、町長提出議案6件について、全会一致で原案のとおり可決されました。

また、高梨町長から2期目に対する所信表明があり、今後の「日本一幸せな DAIGO づくり」に向けた新たな決意が示されました。

## 第1回臨時会 提出議案と審議結果

議案番号	議案名	結果
議案第1号	大子町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決
議案第2号	大子町し尿処理施設災害復旧事業し尿処理施設建設工事変更請負契約の締結について	原案可決
議案第3号	令和4年度大子町一般会計補正予算（第7号）	原案可決
議案第4号	令和4年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第5号	令和4年度大子町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第6号	令和4年度大子町水道事業会計補正予算（第4号）	原案可決

## 一般会計補正予算（歳出）の主なもの

・職員給与費	697万3千円
・出産・子育て応援給付金事業	585万円
・既存衛生センター各槽清掃及び汚泥収集運搬処分業務委託料	643万5千円
・和牛乳牛飼料支援事業補助金	2100千円
・押川橋詳細調査業務委託料	178万8千円

## 高梨町長の所信表明 ～引続き初心を忘れず、油断をせず、努力を重ねていきたい～

提出議案の説明の中で1期目の政策に触れた後、「これからの4年間も町民からの期待を背負い、引続き初心を忘れず、油断をせず、努力を重ねていきたい」と述べ、さらに「大子町が予測不能なこの困難な時代を生き残っていくために、残すべきものはしっかり守って維持しながら、新しいことに果敢に挑戦し、何より自ら切り開いていく覚悟を持ち続けることが重要」と続けました。

そして6つの項目として、『人口減少と高齢者へのサポート』『With コロナ時代における経済対策』『教育』『道路』『道の駅奥久慈だいの防災道の駅構想』『地域医療拡充』を掲げ、「これらの土台づくりやふるさと納税拡充など未来への投資を積極的に行うための財源確保にも取り組みながら『日本一幸せな DAIGO づくり』に向けて職務を遂行していきたい」との決意を示しました。（※一部を抜粋して編集しています。）

# 議員の活動報告します！

11月、12月、1月は主に次のような議員活動を行いました。

11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国保運営協議会〔委員〕</li> <li>・第4回定例会（開会11月16日～25日）</li> <li>・広報委員会〔委員〕</li> <li>・三重県朝日町議会庁舎視察対応〔副議長〕</li> <li>・研修視察委員会〔委員〕</li> <li>・大子地区交通安全協会表彰式〔副議長〕</li> <li>・女性教育振興大会〔副議長〕</li> <li>・久慈川改修事業促進に関する期成同盟会中央要望〔代表出席：高梨町長〕</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインによる読書集会〔副議長〕</li> <li>・定例全員協議会</li> <li>・清流高校との意見交換会打合せ〔文教厚生正副委員長〕</li> <li>・林活議連役員会</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定例全員協議会</li> <li>・二十歳のつどい〔副議長〕</li> <li>・消防出初め式〔副議長〕</li> <li>・新春の集い</li> <li>・第1回臨時会</li> </ul>

## ピックアップ

### ○第4回定例会の傍聴結果

今回の第4回定例会（11月16日から25日まで）には27名の方が傍聴に訪れ、議員や執行部の発言に耳を傾けました。

前回までは、新型コロナウイルス感染症対策の一環として、傍聴席数を13席に制限していましたが、今回から新しい議場での開催となり換気の機能が充実したため、制限を行わずに傍聴することが可能となりました。

入場の際には、検温や手指の消毒など傍聴者のご協力のもと感染対策を行いながら10日間の会期を無事終了することができました。

今回の傍聴者の人数は次のとおりでした。

- 11月16日（開会） 2人
- // 21日（一般質問） 9人
- // 22日（一般質問） 5人
- // 24日（一般質問） 11人
- // 25日（逐条審議・閉会） 0人



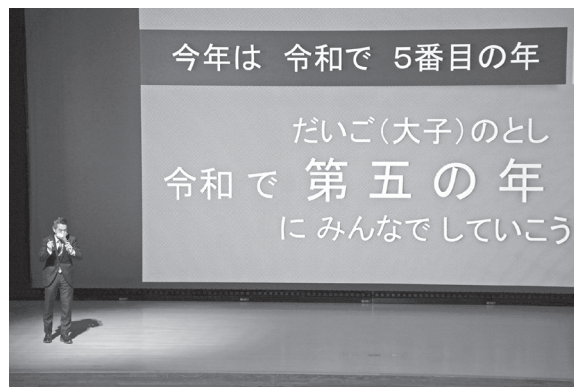
次回の第1回定例会は3月です。ぜひ、議会傍聴にお越しください！！

### ○新春の集いで議会の活動状況を発表

1月18日に行われた新春の集いにおいて、議会運営委員会の大森勝夫委員長が議会の主な活動状況について発表しました。

議会の活動状況については、例年議会報告会などを開催して、町民の皆様へ報告をしていましたが、コロナウイルス感染症の大流行により、ここ数年は実施できない状況が続いていました。

発表は、「議会と町の報告の違いは何？」から「今年は今和で5番目の年」まで全14枚のスライドによって行われました。



熱弁を振るう大森議会運営委員長

- |                      |                           |
|----------------------|---------------------------|
| ①「議会」と「町」の報告の違いは何？   | ⑨被災時は命令伝達が無機能となる事態がある     |
| ②今更ながら… 議会議員の役目は？    | ⑩大子町議会災害時対応マニュアルの概要       |
| ③話し合うこと、考えることが議員の仕事  | ⑪大子町政治倫理条例の見直し作業          |
| ④【委員会】オンライン会議を有効に    | ⑫【地方自治】を実感できる町は魅力的だ       |
| ⑤【定例会・臨時会】については      | ⑬自分の生きがいを見つけよう            |
| ⑥災害時などにおける議会の行動指針    | ⑭今年は今和で5番目の年（第五の年＝大子の年！？） |
| ⑦災害時対応マニュアルの再検証      |                           |
| ⑧気仙沼市・陸前高田市の視察（令和3年） |                           |

### ○2期目の高梨町政が始動！



再選後、初めて登庁する高梨町長

令和5年1月12日、2期目を迎えた高梨町政が動き出しました。

高梨町長は、令和4年6月第2回定例会での大森議員からの質問の中で1期目を振り返り、「当初に掲げた公約について全力で果たしてきた、大きな台風災害やコロナ災害は予想外であったが、皆さんの協力により復旧にこぎ着けた、特にJR第6久慈川橋梁の1年5か月での復旧復興は最大の効力であった」と答弁。そのほか、まちなかビジョンや防災道の駅の指定、庁舎移転に伴う日本郵政との窓口業務提携、

AIタクシーなどを活用した公共交通の再構築、コロナ対策における予防接種の円滑化・感染者を出さないための対策の強化、教育分野における1人1台タブレットの配付など様々な分野における成果を挙げていました。

また、「任期をまたぎ継続して取り組む案件も多く出ている状況を踏まえ、次期の施策を確実なものにしていくため、次の4年においてもかじ取りを行えるよう準備していきたい」という当時の答弁内容でした。（※今回掲載した内容は一部を抜粋して編集しています。）

迎えた12月13日（告示日）、町民から正式に『かじ取り』を委ねられたわけですが、今後もしっかりハンドルを握りしめ『日本一幸せなまちづくり』に向けた良い政策を提案いただきたいと思います。私たち町議会議員も町民の代表として、アクセルとブレーキを使い分け、共に進んでいきたいと思ひます。

## ○議員研修視察の概要

10月27日・28日に長野県辰野町を視察先として、議員研修視察を実施しました。

今回の研修テーマは「官民連携のまちづくり」ということで、議員11名、担当課職員1名、事務局職員1名が参加しました。

今回訪れた辰野町のとある商店街は、時代の流れとともにシャッター街と化していったが、まちの再構築を図るプロジェクトが現在進行中で、賛同者による新しい店が徐々に増えているということでした。「シャッターが閉まっているお店の間に点在する新しいお店、この飛び飛びにできた風景がまちの個性」としたコンセプトによる「トビチ商店街」の取組などを視察してきました。

### 辰野町ってこんなところ

- 長野県の上伊奈郡にある辰野町は、日本列島のほぼ中心に当たる場所として、NHK番組「チョコちゃんに叱られる！」で「日本の中心のなかの中心」として紹介されている。
- 辰野町は自然に恵まれ、古くからホテルの名所であり、今もホテルの群舞がみられる。  
平成15年4月に制定した「辰野町ホテル保護条例」には全町挙げてのホテル保護育成を謳い、ホテルの光を町のシンボルとして伝えてきている。



- 人口18,684人（令和4年10月現在）
- 世帯数7727世帯
- 面積169.2km<sup>2</sup>
- 議員定数14人
- 宝島社田舎暮らしの本  
2021年住みたい田舎ランキング：全国第3位
- 特産品：はちみつ、えごま、ホテルの民芸品  
りんご、辰野そば、鰻・鯉料理



### 《トビチ商店街とは》

閉店した旧店舗の外装や看板、年季の入った家具などの昭和風情をそのままに、「シャッター街もまちの個性」として捉え、無理にシャッターを開けずに、その合間に点在する飛び飛びの魅力的な店を歩いて巡ることを楽しんでもらうことをコンセプトとして「トビチ商店街」が誕生した。



## 発起人にいろいろ聞いてみた！

今回トビチ商店街を案内してくれた方は、プロジェクトの発起人である「一般財団法人 ○（まる）と編集社」代表理事の赤羽さん。

赤羽さんは辰野町へのUターン組で、まちづくり事業を行うために今の状況を逆手にとった「トビチ商店街」の発想を思いついたそうです。

### ■トビチ商店街の誕生

『シャッター街もまちの個性、無理にシャッターを開けずに、その合間に点在する飛び飛びの魅力的な店を歩いて巡ることを楽しんでもらう』という考え方から「トビチ商店街」が誕生。新店舗と旧店舗の若い店主とベテラン店主たちがゆるやかに共存し、居心地良いまちの雰囲気醸成されているそうです。

### ■きっかけとなったイベント

「トビチ商店街」の原点は、2019年12月に開催した「トビチ market」イベント。10年後にありたい商店街の姿を具体的に表し、未来に近づく自分たちをイメージして開催したもので、県内外から54店舗が参加し、約4,000人が来場したそうです。

### ■移住者が集うまち

トビチ商店街は移住者も魅了しており、辰野町の移住者は毎年30世帯、100人ほど。辰野町役場産業振興課の野澤さんの話によると、移住先として数々の候補地を調べた後に「何か面白いことができそう」と思って辰野町を選ぶ人が多いそうです。

### ■町の役割は「見つける」「整理する」「支える」

「見つける」とは、町の目指すことと同じ方向性で能動的に面白いことをやりたい企業や人を見つけること。「整理する」とは、町と企業や人で共創する合意形成を成すこと。「支える」とは、事業化できるまでの資金調達（委託・補助金）、原材料・消耗品支給、ヒトコトモノマッチング、宣伝広告などで支援すること。また、地域の持続可能な手段としては、関係人口を増やすとともに、共に地域を創る共創人口やパートナー（企業）を増やすことだそうです。

### ■新しいコミュニティと経済圏

物理的に距離が離れた里山も、トビチ商店街の仲間。まち歩きを楽しみながら、離れた場所にも足を延ばせるように、自転車のレンタルも行っている。トビチ商店街がめざすのは、従来の商店街の枠を超えた、新しいコミュニティと経済圏だそうです。



たくさん資料をいただきました  
(写真はほんの一部です)

# 研修報告書

## 辰野町を研修視察して

鈴木 陸郎

辰野町は伊奈盆地の最北端に位置し、日本列島のほぼ中心に当たると言われる。昭和22年に辰野町となり、3回の合併によって今に

至っている。

自然に恵まれ、古くからの名所として、平成15年4月にホテル保護条例が制定されている。人口18684人、面積169.2平方メートル、予算87億7千万円の町である。



トビチ商店街に関する質問をしました。

④訪れる客層について

⑤町内町外50パーセントぐらいである。自分達↓1時間商圏↓観光↓地域を優先順位としている。

⑥商売を始めた経営者について

③移住者、近隣市町村、町外に店舗がある。Uターン者、地域おこし協力隊など。

以上が回答説明であるが、展示品が前衛的で一般的ではない、定住者との接点、事業の継続性、観光資源となるのかなど課題も多しと感じた次第である。

## 研修視察を終えて

藤田 稔

長野県辰野町にある「トビチ商店街」を視察してきた。この商店街にはかつて約200もの店があったが、時代とともに6割の店がシャッターを閉める状況に陥った。そんな状況が2019年から一変した。「シャッター街もまちの個性」として捉え、無理にシャッターを開けずに、まちに点在する飛び飛びの商店をつないで、新たな価値観で新しい商店街をつくる取

組が行われたのだった。

現地には、閉店した旧店舗の外装や看板などがそのまま残っており、ぼつぼつとお店に明かりが灯っている状況で、見た目の新しさはあまり感じられなかった。

この再生プロジェクトは、民間の団体が中心となっていて行われており、話を聞くと、ここで

商売を始める新たな経営者は、移住者やUターン組の方々で、地元の人とはほとんどいないとのことであった。

今回この商店街を訪れ、運営に対する考え方や発想に新鮮味を感じた。生まれ変わりのきっかけは、空き店舗活用をポジティブに考える人材によるもので、

民間が主体となり官庁がそれをバックアップする流れがしっかり構築されていた。この流れは商店街の再生に限らず、あらゆるまちの活性化に必要であると感じた。



# あん議会の質問は今？！

今まで議会で質問してきた事業が、その後どのように行われているか、現在の状況をお知らせするコーナーです。

今回は、昨年オープンしたスポーツジム「フォレスポ」の運営状況についてです。スポーツジムやフィットネスジムの必要性については、今までに多くの議員が提言しており、一般質問でも何度か取り上げられていました。

令和3年第4回定例会での質問に対する答弁は次のとおりでした。

## ■「健康維持のための運動機会の創出について」

### 質問

健康意識の高まりもあり、町民からフィットネスジムが欲しいという意見を聞いています。  
また、少子高齢化が進む大子町では、高齢者の健康寿命をいかに延伸するかも課題になっていますが、フィットネスジムやメディカルフィットネスの創設について伺います。

### 答弁

フィットネスジムなどは、健康志向の高まりや生活習慣病予防、介護予防の観点からも大きな効果があるものと注目されており、運動機会の創出、高齢者の健康維持にも役立つと考えています。また、町内に欲しい施設として挙げられていることも承知しています。  
これらフィットネスジム等の施設については、トレーニング後の入浴やサウナの利用などの親和性が高いため、温泉施設の利用促進と施設充実による魅力向上の観点からも、設置について前向きに準備を進めているところです。



そしてついに・・・

**令和4年7月6日、フォレスポ大子（大子広域公園）内に、  
大子町初のスポーツジム  
「フォレスポ」がオープンしました！**

## 3129の方が利用されました!

オープンから約半年間(7月~12月)で3129人がスポーツジム施設を利用されました。

男性利用者が1638人、女性利用者が1491人、1日に利用した方の平均は約21人でした。

今後ますますの利用が期待されます!

### ○施設の概要

#### 【場 所】

大子町大字浅川 2921

大子広域公園多目的温泉プールフォレスパ大子内(旧ミーティングルーム)



#### 【営業日】

- ・フォレスパ大子の営業日に準じる  
※水曜日(夏期営業期間を除く)、12月31日及び1月1日は休館
- ・毎週月曜日は レディースデイ

#### 【営業時間】

- ①通常期(4月1日~7月第3金曜日、9月1日~11月30日):午前10時~午後9時
- ②夏 期(7月第3土曜日~8月31日):午前9時~午後9時
- ③冬 期(12月1日~3月31日):午前10時~午後8時

#### 【利用対象者】

大人(高校生以上) ※安全性を考慮し中学生以下は入場不可とする

#### 【利用料金】

- ①基本料金 400円/回(プール利用者300円/回)
- ②回数券 4,000円/11回

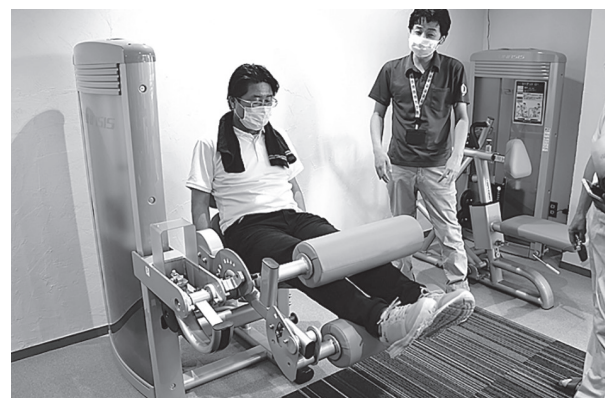
#### 【問い合わせ】

大子広域公園多目的温泉プールフォレスパ大子

電話 72-6100

<https://www.forespa-daigo.jp/>

[forespa-daigo/forespo/](https://www.forespa-daigo.jp/forespo/)



写真は内覧会時に撮影したものです。

## 令和4年第4回定例会

### 町政に

ここが聞きたい!これを言いたい!

# 8名の議員が一般質問!!

質問内容	ページ	質問者
タクシー利用助成券を増やせないか 観光地大子町としての施策は 役場新庁舎の問題点と改善策は	P.14	菊池 富也 議員
防災道の駅の役割は 新たな子育て支援の取組は	P.15	須藤 明 議員
今後の英語教育は インバウンドの対応・準備状況は	P.16	福田 祥江 議員
転売の発電所へ行政の関与は モンベル直営店の誘致ができないか	P.17	大森 勝夫 議員
レストランオープンの成果は 町民の皆さんに喜んでいただける企画を 持続的かつ効果的な事業推進を	P.18	飯村 剛 議員
観光を重要な基幹産業と位置付けているか	P.19	川井 正人 議員
带状疱疹ワクチンの費用助成は 男性トイレのサニタリーボックス設置は	P.20	野内 健一 議員
現状を把握した上での支援策は 新たな魅力を創出する事業とは	P.21	藤田 稔 議員

### 一般質問とは・・・



定例会において、議員が町民の代表として、行政全般にわたり町の考え方や施策の進ちょく状況、将来における施策方針などの不明な点を聞いて、明らかにすることです。

また、議員は町長等の答弁を受け、疑問を問い確かめることはもとより、町民の立場に立った事務事業の改善や施策提言をすることも、議員の重要な権限です。

### おうちで議会を視聴しよう!

大子町では議会中継を行っていますので、スマートフォンなどを利用して自宅で議会の様子を見ることができます。定例会や臨時会の様子を生中継するとともに、録画配信も行っていますので、是非ご利用ください。

※一般質問者ページのQRコードから、質問者を検索することもできます。



ホームページから [議会中継](#) クリック



スマートフォンから



## 問 タクシー利用助成券を増やせないか

## 答 今後、研究する



菊池富也 議員

具体的な施策は。

【まちづくり課長】 スマートフォン教室の開催や広報を実施予定。

【菊池】 次にタクシー利用助成券の内容は。

【まちづくり課長】 令和4年度予算額は、2880万円、10月末までに1万422人の登録があり、延べ1万回の利用がある。

【菊池】 このような状況からみてもタクシー利用助成券を増やすべきではないか。

【まちづくり課長】 自家用車を所有していない方や免許を返納した65歳以上の方の申請により助成券を交付している。町民のニーズや社会情勢を勘案し研究する。

【菊池】 利用者を増やすための

3万1500円、夜間は3万3000円である。登録者数は、約700人程度である。

【菊池】 ここ数年、コロナ禍の影響で観光客数が激減し、観光業者が苦戦している。町は、魅力ある町、活力ある町を取り戻すため、大きな施策、思い切った施策が必要ではないか。

【観光商工課長】 袋田観瀑施設のトンネル照明改修工事、イベントの企画等町外へ向けた様々なPR活動等による魅力向上を図る。

【菊池】 観光資源を生かすため、道路、自然環境、遊休農地などを町が主体となり整備を進めるべきではないか。

【観光商工課長】 袋田清流会、八溝保勝会と環境整備や清掃活動を実施している。通学路の整備やボランティア活動も考えている。

## 観光地大子町と

## 役場新庁舎の

## 問題点と改善策は

【菊池】 町役場の新庁舎が完成したが、いくつかの問題点も表面化しているので改善策を伺う。まず、一つ目として、町役場の案内板が見づらい小さい。

【総務課長】 新庁舎まで誘導する案内板を町営研修センター入口等数か所に、また国道については大子工務所と協議中である。

【菊池】 次に庁舎内の案内図が小さくて見づらい。

【総務課長】 各階の平面図、各課の受付カウンターには課名・業務名を表記している。

【菊池】 新庁舎は、木造をうたい文句にしているが、床はコンクリートで、階段は鉄骨である。床からの粉じんは機器に悪いのではないか。

【総務課長】 木造を際立たせるためにコンクリートや鉄骨を使っている。コンクリートの隙間は致し方ない部分である。また、事務フロアはタイルカーペットだから支障はない。不具合があった場合は、何らかの対策をとる。

【菊池】 2階から事務室を見た



木造建築？

際、個人情報を見ることができるところがある。税情報、福祉関係情報が見える。問題ではないのか。

【総務課長】 個人情報を取り扱うパソコンには、のぞき見防止フィルターを取り付けた。

【菊池】 新庁舎は、吹き抜け構造であるから冷暖房や電気料等の経費が大きくなるのではないか。

【総務課長】 事務時間内は集中管理だが、退庁時は電源を切り、残業等がある場合は、個別に対応するように対策をとる。

【菊池】 おもいやり駐車場の活用を再考すべきではないか。降りたらすぐに庁舎に入れるよう検討すべきである。

【総務課長】 感染症対策として、一か所閉鎖している。歩く距離は長くなるが、理解してほしい。

## 問 防災道の駅の役割は

## 答 防災力の強化と賑わいづくり



須藤 明 議員

【須藤】 広域的な防災機能を担う防災道の駅とはどのようなことが期待されるのか。

【観光商工課長】 防災力の強化、また、賑わいづくり、この両面が図られるものと考えている。

【須藤】 湯の里大橋下流側、右岸から堤防沿いに常陸大子駅前まで施設内道路の整備が計画されている。どこが整備をし、どのような利用がされるのか。

【観光商工課長】 整備主体として、茨城県が防災

道の駅の機能の一つとして整備する。平時は、施設への導入路として活用、緊急時や災害時には、水没しない迂回路として活用できると理解している。

【須藤】 栃木県や福島県で災害があった場合、ここが拠点となつて応援物資を運ぶとか、災害救助隊を送るとかの機能も果たされるのか。

【町長】 今のところは、常陸河川国道事務所、関東地方整備局の範囲であるが、これが東北地方整備局であったり、そちらの関係機関と連絡を取ることになつて救助活動をするということになれば、それはあり得る話であると思つている。

【須藤】 旧庁舎跡地に観光交流施設やイベント広場

の整備が進められている。どのようなプロセスを踏んで計画が進められていくのか。

【観光商工課長】 今年度、基本構想を策定する。その構想に基づき、来年度以降、設計また施工を実施する。基本構想は、町民ワークショップを開催し、出された意見を参考に策定するというプロセスを踏んでいく。

【須藤】 整備されて、供用開始となつた場合、管理体制というのはいまの辺りで考えているのか。青写真みたいなものまで出ているのか。

【観光商工課長】 既存の道の駅と旧庁舎跡地に整備予定の施設、第2道の駅は、一体のものとして捉え、管理・運営すべきも

のとして考えている。



「防災道の駅」に生まれ変わる旧庁舎跡地

## 新たな子育て支援の取組は

【須藤】 過去5年間の出生数の推移について伺う。

【福祉課長】 平成29年度は73名、平成30年度は70名、令和元年度は51名、令和2年度は41名、令和3年度は42名となっている。

【須藤】 出生数が減少しているこの状況をどう受け止めているのか。

【福祉課長】 年々少子化しているのが現状である。既にかかりの数の支援策を

施しており、今後も引き続きこの支援策を続けることで、少子化問題に対応していきたい。

【須藤】 現状を直視し、出生数減少の現実を直視し、今後新たな取組方法を考えていく必要があるのではないか。

【町長】 大子町単体だけで努力してもなかなかうまくいかない。県の施策、国の施策としっかり連携した中で、町の発展に努めていくべきだと考えている。

【須藤】 町が生き残るには出生率を上げるということ、子どもを増やすということ、これが大切なことである。町の存続に関わる話だと思いが如何か。

【町長】 町が衰退するわけにはいかないという思いはもろもろ持っている。舵を取っている者がしっかりと前を向いて進んでいくことが、町の発展につながる大きな力になる。

## 問 今後の英語教育は

【答】子ども達へ積極的に語学投資をしていく



福田祥江 議員

台湾の小学校とのオンライン交流などを行っている。

【福田】英語能力検定を行っているETS社の最高執行責任者が、英語教育が発展する国・地域の条件として、早期、高い質、実践、インセンティブ（刺激

で、英語以外でも語学に興味を持ち、将来、世界で活躍できるようにネットワークづくりも大子町には必要であると思うので、チャンスを作っていきたいと思っている。

【福田】新学習指導要領により2020年度から小学校でも英語教育が義務化されている。当町における取組は。

【教育委員会事務局長】ALTは、児童・生徒のコミュニケーション能力の育成

を目的とした授業改善、教員の指導力の向上、国際理解教育の充実を図る目的で6人配置されている。またAIを利用した学習ソフトの活用、無料でのブリティッシュヒルズでの1泊2日の英語研修、生瀬小学校と

や動機）をあげていた。公立の学校でも様々な工夫をしている所もある。大子町での独自性を出しながら、さらに拡充できると思うが町長の考えを伺う。

【町長】TOEIC、TOFEL等で高得点をとった方は私立大学の入試が免除になることもあるので、多方面で増やしていかなければならない、切実にスピーディにやらなければならぬ問題だと思っている。一方



中学2年生の英語研修は「ブリティッシュヒルズ」へ

## インバウンドの対応・準備状況は

【福田】コロナ禍後を見据

えて、今から外国人観光客を取り込むための準備が必要であると考えます。観光庁のアンケートで困った事の上に「キャッシュレス決済について」がある。当町の対応状況について伺う。

【観光商工課長】クレジットカードとペイペイの両方が使えるのは町有施設で6施設、飲食店などの民間事業所では、把握している所で約30事業者となっている。

【福田】日本での観光客の消費額が1位の中国人は、ウィーチャットペイやアリペイなどをよく使用するが。

【観光商工課長】クレジットカード導入により消費額が増加するという国の調査結果もあるので、県や商工会など関係各所と連携を図りながら、キャッシュレスの対応を進めていきたい。

【福田】案内の多言語化の対応は。



カード決済対応が望まれる観光物産館

事務所の観光案内板、周辺のトイレ表示、パンフレットの多言語化を実施している。

【福田】食事のメニューや温泉の入り方、トイレの使用方法なども必要かと思われるが、個人事業主では難しいため町が主導で行う事を希望するが。

【観光商工課長】今年度、観光庁の補助金を活用して、台湾からの誘客のためのツアー造成事業を行っている。県の指導も仰ぎつつ、各方面と連携を図って受け入れ体制の充実を図っていく。



## 問 転売の発電所へ行政の関与は

## 答 企業と覚書の締結を進めている



大森勝夫 議員

問題が顕在化している。

発電所の敷地は元町有地だった。売却に関して議会に提案されることはなく、売却後に議会報告のみで民間に払い下げられたというのが過去の経緯である。

敷地や施設が民間である発電所を買い取った企業に対して、運営に関する指導を町はできるのか。

**【大森】** 矢田地区にある民間の木質バイオマス・ガス化発電所が未稼働のまま転売された。発電できない施設を買い取る企業側の経営判断に、発電以外の目的がありはしないかという猜疑心を禁じ得ない。

当該施設がガス化発電方式は日本国内でも成功事例が少ない。建設以前からその不安を指摘する声はあったが、企業誘致という大義名分にかき消されてしまった。ここに至って未稼働の発電施設の「行く末」という

結後20年間は発電事業を行うこと、期間に関わらず第三者へ土地及び事業の譲渡をする場合は町と事前に協議すること、事業を廃止する場合は跡地活用について町と事前に協議すること、などの内容で検討している。健全な運営がなされるよう、今後も当該企業と連絡を取り合っていきたいと考えている。

**【財政課長】** 当該土地の売買契約には買い戻し特約がある。契約日から10年間の令和8年11月まで、土地の利用目的はバイオマス発電事業でなければならぬという用途指定が、現在も有効である。

**【まちづくり課長】** 当該企業と町で覚書を締結する準備を進めている。

覚書の内容は、土地の買い戻し特約に加え、締

## モンベル直営店の誘致ができないか

**【大森】** 町と民間企業の連携先に、アウトドア企業のモンベルがある。代表取締役会長兼CEOの辰野氏の講演会が大字町で実現できたことは大きな成果に感じる。

町もアウトドア拠点としてのブランディングに取り組んでおり、その分野で著名な優良企業との連携強化は効果的と考える。

モンベル直営店の出店判断は、利益より、ブランドイメージの構築や、地域おこし要素を重視して実行されてきている。

講演会で直営店の地図が示されたが、ひたちなか市の店舗を除けば、北関東と福島県に店舗が無い。このエリアをカバーする店舗として大字町に出店誘致を勧めることはできないか。

**【観光商工課長】** 株式会社モンベルは地域振興に力を入れており、直営店が進出して地域が活性化した事例を承知している。

大字町へモンベル直営店の出店誘致を視野に入れた包括連携協定となるように、今後も努力していきたい。

また、辰野会長が講演で来町された際、グリーンヴィラを訪問し、センターハウス売場でモンベル商品を取り扱ってはどうかという提案をいただいております。現在、打ち合わせを進めています。



モンベル辰野会長の講演会は1つの成果

# 問 レストランオープンの成果は

## 答 来校者数、売上高共に好調

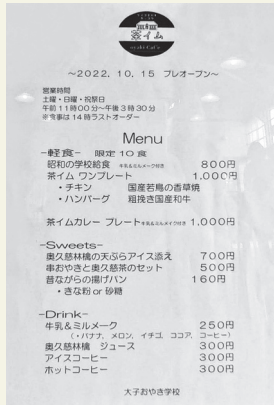


飯村 剛 議員

較では、10月1402人と2倍以上増、売上高は261%増となった。

【飯村】現在、土日祝日のみの営業だが盛況につき、今後は営業拡大を考えてみてはいかがか。

【観光商工課長】ゴールドウイングや夏休み、秋の行楽シーズンなど集客が見込まれる期間には平日の営業実施を検討していく。



カフェレストラン「茶イム」のメニュー

【飯村】大子町振興公社がおやき学校の運営を引き継いで約1年が経過し、今回新たな試みでレストランのプレオープンに至った。営業の内容、成果については。

【観光商工課長】リニューアルをし「onyakicafeteaイム」の愛称で10月15日にプレオープン。懐かしい昭和の学校給食、ランチプレートなど軽食を中心にメニューを提供。利用者数、売上高の比

町民の皆さんに喜んでいただける企画を

【飯村】これまでに町と観光協会が協力して行ってきた事業は。

【観光商工課長】大子来人、袋田の滝ライトアップ、秋のだいたい美火花など。

【飯村】秋のだいたい美火花は各地区で行われ盛況だった。今後は夏の花火大会と並行して行っていくのか。

【観光商工課長】継続すべきとの考えのもとに引き続き行っていく。

【飯村】観光協会と町が考える観光事業について協働してレベルアップを図れないのか。

【観光商工課長】茨城デステイネーションキャンペーンの本番を迎え、コロナ禍からの復興も本格的に図っていかねばならない大変重要な時期に差しかかっている。観光宣伝の方法についてもSNS等を活用したオンラインでの広報活動に変化をしている状況にあり、環境の変化に対応するためにも観光協会とは引き続き双方が刺激を受けながら同じ方向で行っていく。

## 持続的かつ効果的な事業推進を

【飯村】まちなかへの人の呼び込みやすい環境づくりを行っていく上で、商店街の整備など町民の皆さんはもちろんのこと商工業に携わる方々の協力があったこそ事業が成し遂げられる。取組についての話し合いは行っているのか。

【観光商工課長】防

災道の駅のワークショップを通じて参加を依頼している。各種事業の推進に当たり、対話を大事に官民連携を重



各地区での打ち上げ花火は初めての試み 大盛況でした

視して進めていきたいと考えている。

【飯村】商工会と町が主催した事業で、町内企業の方々が参加した「羽田イノベーションシティ」の視察研修を行ってきたと聞いた。事業の内容と目的、成果は。

【観光商工課長】経済産業省連携事業として、町内企業の経営等に生かせるような気づき・アイデアを得るきっかけを与える新たな方向性の支援策として実施した。インバウンド観光戦略、ものづくり企業の先端技術を得る可能性について体感をした。次年度も引き続き実施していきたい。

## 問 観光を重要な基幹産業と位置付けているか

## 答 町の重要な基幹産業と位置付けている



川井正人 議員

る。現在SNS等を活用した全国的なプロモーションを図っている。

【川井】 現状、町の観光関連の最大の収益事業は袋田観瀑トンネルの利用料と認識しているが、トン

ネルが有料化されて以降、観瀑者数が最も多かった年度及びその年度の料金収入額、近年年度の人数と料金収入額を伺う。

【観光商工課長】 入場者数が最も多かった年度は平成7年度で約107万人、料金収入は約9900万円。料金収入が最も多かった年度は第二観瀑台がオープンした平成20年度、約87万7000人で料金収入が約2億4300万円。近年過去5年間の入場者数と収入額は、平成29年度が55万人、1億4

【町長】 町は第6次大子町総合計画の施策で観光を重要な基幹産業と位置付けている。現状と課題については大子町の全国的な知名度が足りておらず知名度を上げる必要があ

700万円。平成30年度が51万人、1億3600万円。令和元年度が41万人、1億900万円。令和2年度が31万人、8400万円。令和3年度が32万人、8300万円。

【川井】 多くの観光客のおもてなしとして、滝周辺の駐車場案内看板や街灯の設置、また段差の解消等が必要と考えるが、町として整備計画はあるのか伺う。

【観光商工課長】 来年度、袋田第一、第二駐車場の看板を最新の情報にアップデートする予定でそこに周辺駐車場の状況を表示し、トレイル等のお客様にも対応できる様に検討している。街灯の設置については現状を見極めて検討する。観光客の

安全確保に向けては、観光協会や地元の皆様と共に対応していくべきと考えている。

【川井】 滝を訪れた人に感動を与える環境整備が大切である。四季折々の美しい情景、自然と相まった滝の景観を維持するためには滝川の水量保持が非常に重要である。町は水量確保対策としてどのような考えを持っているのか伺う。

【観光商工課長】 水量確保対策としては、滝上流部への貯水池の整備等が考えられるが膨大な整備費用が発生する。また県立自然公園や国名勝の指定範囲であり慎重に検討せ

ざるを得ない。

【川井】 同じ日本三名瀑の日光華厳の滝は、観光資源としての重要性、必要性からも長い年月をかけて中禅寺ダムを造り観光放流等を行っている。貯水池整備等に関し予算等難題はあるが、将来に向けた検討を県と一緒に進める必要がある。再度滝の水量確保対策について町の考えを伺う。

【観光商工課長】 水量が少ないことで迫力がないという指摘を受けることが非常に多い。また水質についても観光客や地域住民から意見を受けている。長期的な観光資源の維持対策として調査していく。



水枯れない四季折々の滝を楽しむためにも水量調整が必要

## 問 带状疱疹ワクチンの費用助成は

### 答 少し時間をいただき検討する



野内健一 議員

決定があるまで、町から費用の一部を助成していただけないか。

【健康増進課長】現在、厚生

科学審議会において議論が行われており、市町村が実施する予防接種の定期予防接種とすることの検討が進められている。現時点では、国の検討状況を注視している。

【野内】それでは国の方針が決定するまでの間、全費用の半額又は3分の1だけでも町からの助成はできないか。

【町長】このワクチンに対する助成については、茨城県内で実施している自治体はまだないという事実もあり、またこのワクチンの副作用の問題について結論が出ていない点もあるのです、町単独で先

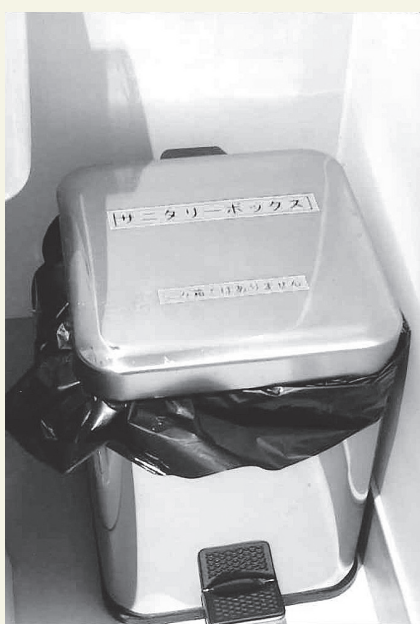
頭を切って出すべきか、もう少し時間をかけて検討していきたい。

## 男性トイレのサンタリーボックス設置は

【野内】前立腺がんや、膀胱がんの患者が使用済みの尿漏れパットを捨てる「サンタリーボックス」を、男性トイレの個室に設置する動きが公共施設等に広がっているが、新庁舎トイレにはどうか。

【総務課長】病気や高齢による理由で尿漏れパッドを使用している方が使用済みのものを処理できるよう、公共施設の男性用トイレへのサンタリーボックス設置についてのニーズが出てきている。また9月9日付で、茨城

県保健医療部長から各市町村長宛てに、公有施設の男性トイレへのサンタリーボックス設置についての依頼があった。新庁舎には大人用おむつなども捨てられるよう少し大きめのボックスを選定して、男性用トイレの手洗い場付近に各1個設置した。さらなる改善を目的として、各ブース内の個室に設置していきたいと考えている。また、ボックスの表示についても利用の方が分かりやすくするという意味も含めて実施していく。



新庁舎の男性トイレに設置されたサンタリーボックス

## 問 現状を把握した上での支援策は

**答** 必要に応じ適切な支援を考える



藤田 稔 議員

何う。

【観光商工課長】 限りある予算の中で商工業者全体に出来るかを念頭に制度設計を考えた。さらに支援が必要であれば適切な支援が出来るように考えている。

【藤田】 中小企業応援金の申請状況と申請期間が延長になった理由を伺う。

【観光商工課長】 法人事業者に1万円、個人事業者に5千円支給する制度である。法人が19社、個人事業主が24件である。第8波に入り申請が進まなかった。

## 新たな魅力を創出する事業とは

【藤田】 道の駅奥久慈だいが周辺におけるイルミネーション装飾等への町民参加の考えを伺う。

【観光商工課長】 子供達との装飾を考えた時も、電気を扱うため安全性面での課題で見送った経緯がある。文化芸術の振興の観点から創造性を育む事業であるので実現の可能性を探っていきたい。

【藤田】 袋田の滝観瀑施設照明改修で、資材の調達は大丈夫か伺う。

【観光商工課長】 施工業者から遅延はないと聞いています。

【藤田】 袋田の滝トンネル内の湿度や漏水対策は大丈夫か伺う。

【観光商工課長】 施工業者と対処しながら工事を進めていくことは認識している。

【藤田】 トンネル内壁を活用したアーティファクト等の作品展示の考えを伺う。

【観光商工課長】 改修が終わった時点で検討したい。

【藤田】 地元関係者からの意見や要望はどの様に反映されるのか伺う。

【観光商工課長】 モニターの設置やプロジェクターの演出で反映をした。

【藤田】 大子来人の連携や今後の新たな企画の考えを伺う。

【観光商工課長】 観光協会と連携して、照明改修工事との相乗効果が生み出せるような演出を考えている。

【藤田】 町が行う事業に共感した人達から寄附を募るガバメントクラウドファンディングの申請状況を

伺う。

【観光商工課長】 寄附の申込者53人で151万610円である。

【藤田】 袋田の滝において年間を通して町の観光や町独自の施策等の案内が必要である。町の考えを伺う。

【町長】 まちづくり課にタウンプロモーションチームを立ち上げたので、大子町を外へPRしていくことでいろんな世代や業界の発展に努めていきたい。

【藤田】 照明改修等に係る金額について伺う。

【財政課長】 工事請負費が1億2353万円、管理委託料275万円である。



照明改修工事による交流人口の増加を

— 大子っ子の夢、応援しています —

# わくわく わたしの夢



私は小さいころから絵を描くことが大好きで、イラストレーターになる夢を思い描いてきました。

小学校六年生の頃、父に将来について聞かれたことがありました。私が絵を描くことが好きなことを知っている母が、イラストレーターという職業を勧めてくれました。



大子西中学校3年  
ほし 楓 さん

## 今回の表紙について

新庁舎へ移転するため書類整理をしていると、懐かしい写真が顔を出しました。

「湯の里大橋の完成」や「奥久慈だいたい観光やなのオープン」、さらには現在の天皇陛下が「皇太子殿下」として大子町をご訪問された時の写真まで！これらのことから推測すると、昭和の終わり頃から平成の始まり（西暦1988年）1990年頃に撮影されたものということになります。実に35年ぐらい前の貴重な写真です！

## FM放送のお知らせ

町議会定例会の一般質問の様子をFMだいで聴くことができます。生放送のほか録音放送も実施していますので、是非お聴きください。

放送日や時間などはFM放送等でお知らせします。



## 3月定例会開催予定

▽3月2日(木) 開会

休会

▽3日(金)～5日(日) 休会

▽6日(月) 一般質問

▽7日(火) 一般質問

▽8日(水) 一般質問

▽9日(木) 予算・決算委員会

▽10日(金) 予算・決算委員会

▽13日(月) 逐条審議会

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

## 大子町議会広報委員会

- 委員長 福田 祥江
- 副委員長 須藤 明
- 委員 飯村 剛
- 委員 川井 正人
- 委員 金澤 眞人
- 委員 菊池 靖一

## あとがき

新議場で初めての定例会が11月16日に開会し、8名による一般質問と議案審議が行われ、新しい歴史の第一歩を踏み出しました。

新議場は、町民に開かれた議会を目指して造られ、傍聴席も議会に参加しているような雰囲気味わうことが出来ます。わたしたちも議会を身近に感じていただき、多くの方々に傍聴いただける議会づくりをさらに進めて参ります。

町民の期待を背負い2期目の高梨町政がスタートしました。議会も是非々の議論で議会の役割をしっかりと果たし、執行部と協力しながら町の発展と町民福祉の向上を目指して参ります。

(菊池 靖一)